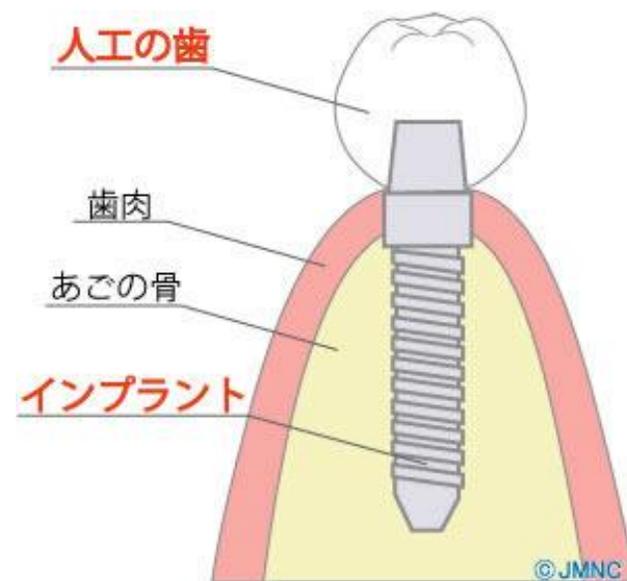


インプラントとは？

虫歯や歯周病などの原因で歯を失うと、ものが食べにくくなったり、うまく発音できなくなったり、また前歯の場合ですと見た目が悪い等の障害が出ます。そこで歯科では義歯を作製して、損なわれた歯の機能や審美性を回復します。これまでは、両隣りの歯を削って固定性のブリッジとよばれる被せものを装着したり、より多くの歯が失われた場合には着脱式の床義歯つまり入れ歯が用いられてきました。昨今これらの方法に加えて顎の骨に人工歯根(インプラント)を埋入し、これを支えとして義歯を作製するインプラント治療が注目されています。



インプラント義歯は、噛む力を顎の骨で支えるため、しっかり噛むことができ、ブリッジのように他の歯を削合する必要もありませんし、また取り外しの入れ歯のように、異物感もありません。

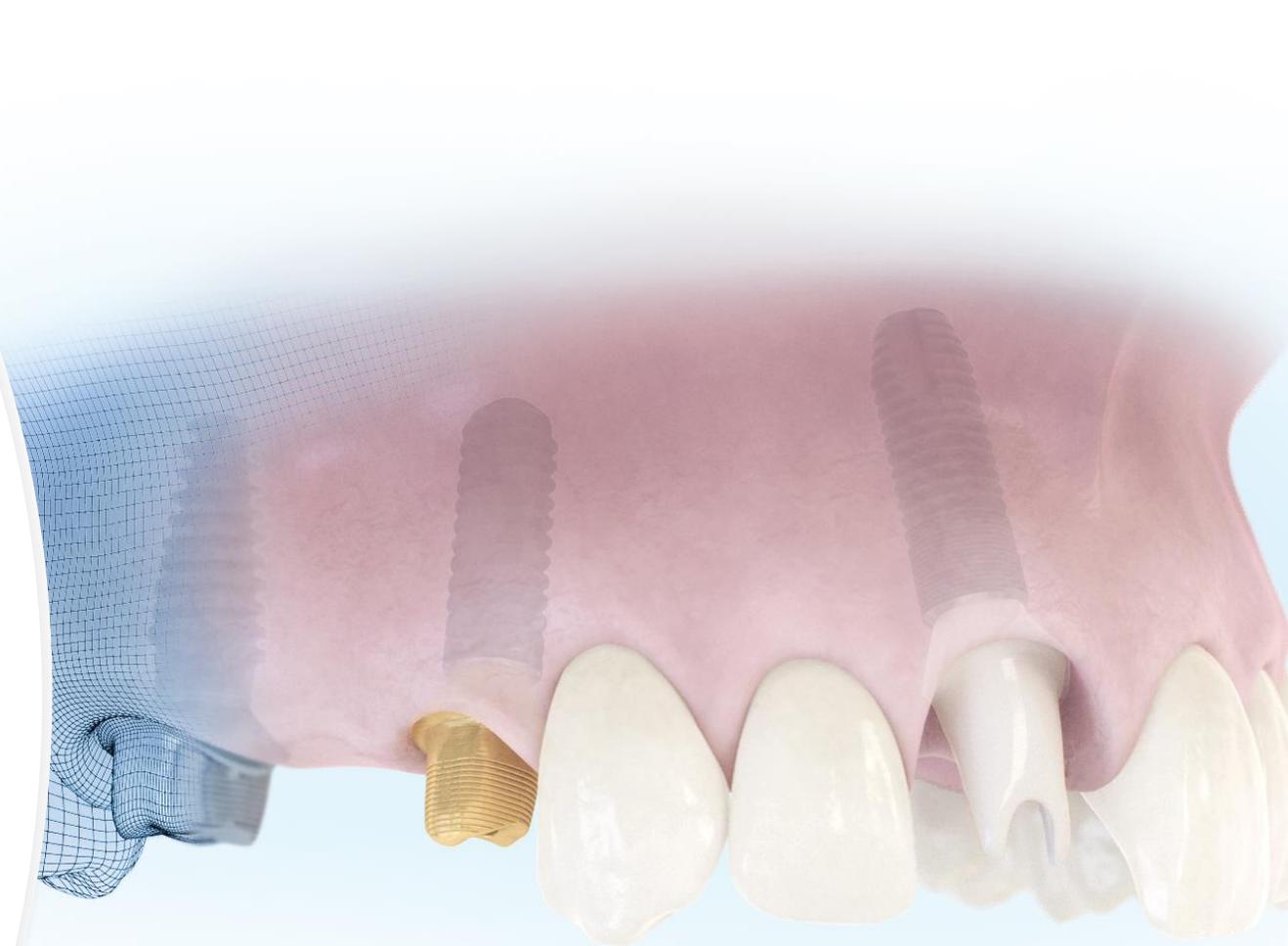
しかしよいことばかりではなく、インプラント治療では気をつけないといけないことがあります。

1つは、埋め込みの手術が必要だということです。そのために全身的な検査が必要ですし、飲んでいるお薬によっては、インプラントの手術ができない場合もあります。また下顎骨の中の神経血管を損傷してはいけませんし、上顎骨には上顎洞という空洞が存在します。したがってインプラントの手術のためにはCTによる顎の骨の精査が不可欠です。



2つめに、インプラントは感染に弱いため、プラークコントロールが特に重要です。「インプラントを入れたから一生噛むのに困らない」ということはなく、定期的なメンテナンスをしなければ長持ちしません。

3つめに、この治療は健康保険が適用されないため高額な治療費がかかってしまいます。正確な治療費は診察や検査を終えた後に治療計画書と共にお示しすることになります。



インプラント治療は、このようにして行います

ステップ1 診察・検査と治療計画

全身的な検査、噛み合わせや口の中の細菌検査の他、レントゲンや口の模型を使った計測なども交えた十分な診察・検査・診断をもとに治療計画を立案、お示しします。

ステップ2 インプラント埋入

通常は局部麻酔のもと、顎骨にネジ型のチタン製インプラントを埋入します。これが新しい歯の土台になります。

* オッセオインテグレーション

インプラントが埋入された後、チタン製インプラントが骨と一体になる(オッセオ インテグレーション)まで、しばらく(通常2~6か月間)待たなければなりません。



ステップ3 義歯作製

インプラントと骨が一体化したと判断されたら、義歯の作製に入ります。

ステップ4 メンテナンス

インプラントを長持ちさせるためには、自分の歯と同じように、ブラッシングによるプラークコントロールが重要です。人工物であるインプラントを長く機能させるためには、定期的なチェックが必要です。



インプラント治療について、ご不安な点、ご質問等がございましたら、何でもお気軽にご相談ください。
お問い合わせ先は下記のとおりです。

【お問い合わせ先】

奥州病院 歯科・歯科口腔外科

電話：0197-47-5563（歯科直通）

住所：〒023-0828 岩手県奥州市水沢東大通り1丁目5番30号